

【社会受容性向上へ 27、28日一般試乗会 山梨県の自動運転実証 オリコンサルらが参画】

社会受容性向上へ 27、28日一般試乗会

山梨県の自動運転実証 オリコンサルらが参画

オリエンタルコンサルタンツが参画する山梨県の自動運転実証事業で、県民を対象とした一般試乗会が27、28の両日、甲府市内で実施される。社会受容性の向上が目的。甲府駅から甲府市役所周辺の約1・2キロを周回する。

同社は、山梨県を代表団体とする「令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用した自動運転の実証事業に、山梨交通、日本信号、先進モビリティとコンソ



ーシアムを組成して参画。レベル4相当の自動運転バスによる運行を目指し、路車協調システムなどを使った実証計画の策定と運営、評価・分析、社会受容性の醸成に向けたプログラムの計画立案などを担

当している。

実験車両は定員28人（着座10人）、最高速度は時速80キロ。実証実験時は時速50キロを上限とし、2023年度では自動運転レベル2での走行とする。一般試乗会に先立ち、24日には長田公副知事と青木滋オリエンタルコンサルタンツ取締役、雨宮正英山梨交通社長ら関係者が試乗し、コース全体での自動運転バスの走行性を確認した。写真。

2月13日からは、レベル4相当の自動運転の技術立証に向け、甲府駅くゆめソーラー館やまなし間長さ約12・5キロの公道を走行する。期間は3月1日まで。